

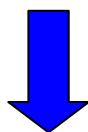
紙版画 「マニラボール紙でユニークな顔を作ろう」

版画の種類	紙版凹凸版	学校名	松江市立玉湯中学校	指導者	奥原 千幸
題 材 名	顔を作ろう	学年	特別支援学級	時 間	1～2時間
<p>題材のねらい ・ 人や動物などさまざまな顔を想像して版で作ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 顔の表情を観察したり、工夫したりして表情豊かに作ることができる。 ・ いろいろな道具を知り、それを使って版をつくることができる。 					
版 画 の 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔の色々な表情に気付くことができる。 ・ 身近な紙を使い、版画の楽しさを味わわせることができる。 ・ ニードルやルレット、針やパンチなど身近な道具を使い、紙をひっかく、跡を付ける、穴を開けたり等を通して道具を使用して版を工夫することができる。(凹版) ・ 紙や毛糸、綿や砂などを貼り付けたり、メディウム(下塗り剤)を用いて版の凹凸を工夫することができる。(凸版) ・ 刷りは、こどもの実態に合わせ、バレンでもプレス機いずれでも刷ることができる。 				
準 備	鏡、顔枠シート、マニラボール紙(色々な形に切った紙)、版画用具一式(彫刻刀、バレン、ニードル、油性版画インク、インク練りヘラ、ローラー、インク練り板) カッターナイフ、ハサミ、針、穴開けパンチ、ルレット のり、ボンド、綿、紐(麻、木綿、ビニール等)、毛糸、砂、メディウム(下塗り剤) 新聞紙、洗剤、手ふきタオル、版画刷り用紙、水入れバット				

授業の流れ

1. 下絵を考えよう。

- ① 鏡をみて顔の表情を観察しよう。
- ② シートに顔の絵を描こう。
- ③ マニラボール紙の型に描こう。



2. マニラボール紙に顔を作ろう。

- ① ニードルで削ってみよう。
 - ② 紙や糸など貼り付けよう。
- ※あまり凹凸差をつけ過ぎないように注意

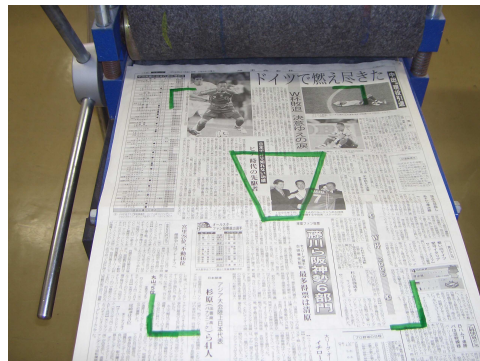


3. マニラボール版を刷ろう。

①インク、ローラー、水、等準備する。

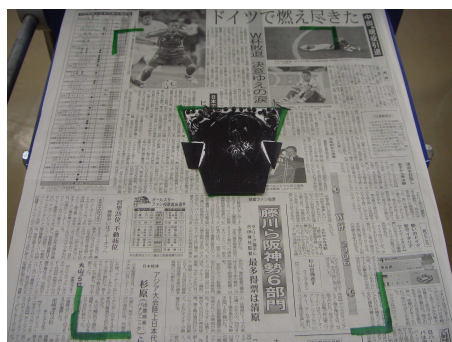


②ローラーの上に新聞紙を乗せ、版・紙位置を印付けする。

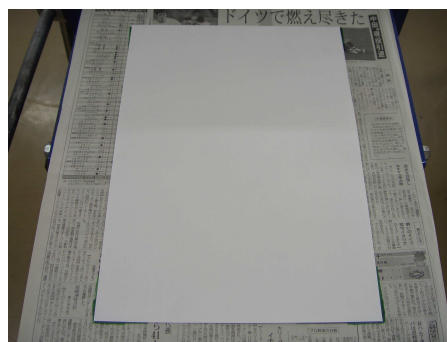


③湿らせた版画紙を新聞紙に挟む。

④版にインクをつけ、印に乗せる。



⑤版の上に湿らせた版画紙をおく。



⑥フェルトを乗せハンドルを回す。

※バレンでも可。

※ローラー圧は、人差し指で軽く動く程度にする。



⑦ 完成。小さくサインを入れる。



資料①

準備物（例）



貼り付け素材（例）



資料2 顔枠ワークシート

枠の中にいろいろな表情の顔を描いてみよう。年 組・氏名 _____

